

海外ファンド獲得支援の実績と今後の展望

若松 文貴、坂本 翼
京都大学学術研究支援室

(Kyoto University Research Administration Office, KURA)

海外ファンド獲得支援制度 (2015年より実施)

【目的】 海外の大型研究ファンドの申請数・採択率を向上させる

【対象】

海外の大型研究ファンド
(Horizon2020, NIH, HFSP,
AXA Research Fund等) に
申請する学内研究者

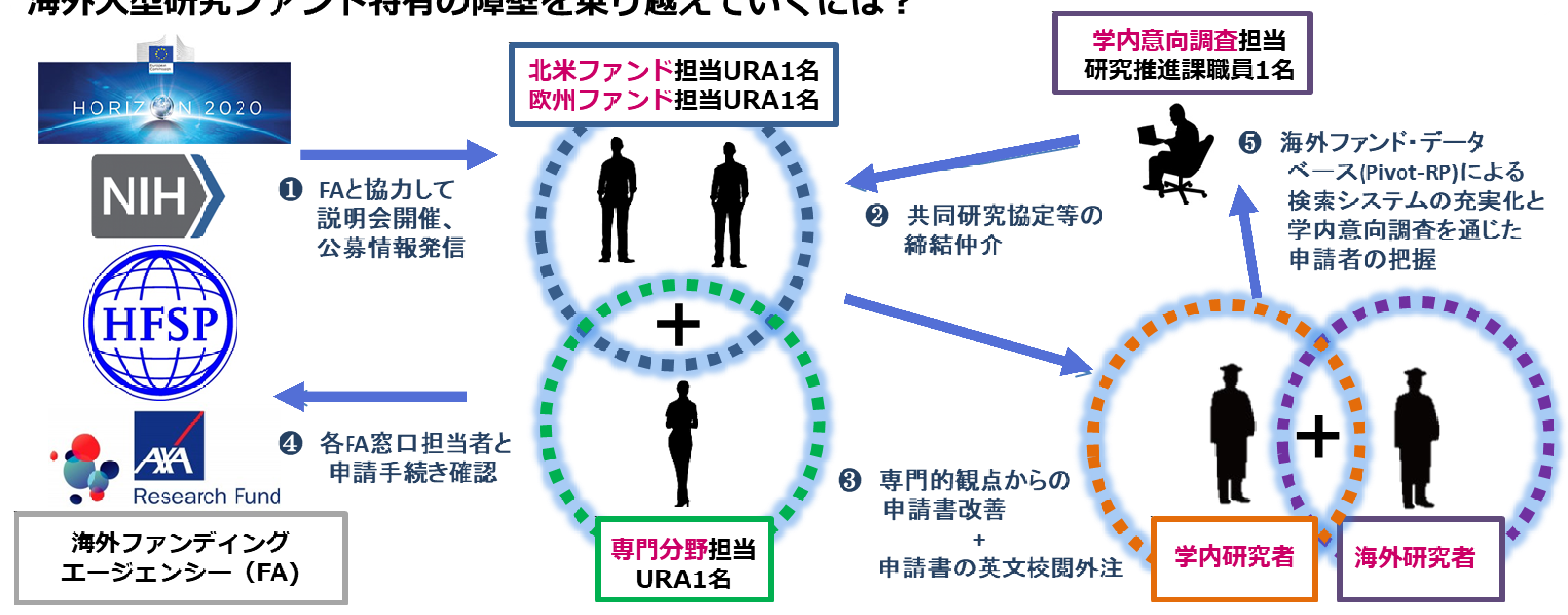
【手段】

- ・公募時期に合わせた説明会の開催
- ・海外ファンド・データベース(Pivot-RP)を活用した公募情報の効果的な発信
- ・重点的な申請支援 (ファンド担当URA+専門分野URA+英文校閲外注)

【効果】

- ・各海外ファンドへの申請件数・採択率の向上
- ・採択された学内研究者の国際的レピュテーションの向上
- ・「外部資源の内在化」を目指す研究大学として京大の戦略的研究推進に貢献

①低い認知度、②多国間にまたがるチームング、③言葉の壁、④申請手続きの煩雑さ、⑤高い競争率
海外大型研究ファンド特有の障壁を乗り越えていくには？



成果1. 申請支援件数・研究資金の種類が増加

2017年度：申請支援 13 件うち 0 件採択

2018年度：申請支援 7 件うち 1 件採択

NIH (薬学、1300万円/4年、アメリカと共同)

NIH (CIRA、5400万円/3年、アメリカと共同)

2019年度：申請支援 7 件うち 3 件採択

National Geographic fellowship (学芸、700万円/1年、インドネシアと共同)

Harvard Yenching Program (人文研、600万円/1年、アメリカと共同)

Wellcome Trust (医学、930万円/3年、イギリスと共同)

2020年度：申請支援 14 件うち 7 件採択

JST/EIG CONCERT Japan (工学、1800万円/3年、ドイツ/ハンガリー/スペインと共同)

JST/CREST 日仏共同公募 (情報学、2億5000万円/5.5年、フランスと共同)

JST/SICORP - J-RAPID (生存学、600万円/1年、アメリカと共同)

JST/SICORP - Covid-19 (生存学、780万円/1年、アメリカと共同)

JST/SICORP - Covid-19 (情報学、780万円/1年、フランスと共同)

AMED/SICORP 神経科学 (薬理研、2000万円/3年、ドイツと共同)

2021年度：申請支援 6 件うち 1 件採択

Horizon Europe - MSCA Postdoctoral Fellowships

(基礎研、受入支援にて0円; イタリアと共同)

ほか採択後支援 18 件 (2018-2021)

成果2. プレアワードからポストアワード支援の一体化

【例:NIH申請の場合】

Pre-Award

研究計画書以外に提出が必要な書類が膨大

- ・ Statement of intent
 - ・ Support Letter
 - ・ Face Page
 - ・ Scope of Work
 - ・ Initial Budget
 - ・ Final Budget and Budget Justification
 - ・ Biosketch
 - ・ Facilities and Resources
- URAが仲介して作成・署名手続き

Pre-Award

採択後の契約・経理手続きが煩雑

- ・ Subaward Agreementの締結
 - ・ 配分資金受取にかかる書類作成
 - ・ 動物実験・人体実験にかかる米国の倫理規定のチェック
 - ・ 部局との間接経費の調整
 - ・ 経理監査の証明書作成
 - ・ Invoiceの作成
- URAが海外と学内の事務担当者間を仲介

成果3. 海外ファンド・データベースの構築

- ・ 2017年度は海外ファンド申請支援を依頼できる入り口ページを開設
- ・ 2021年度に海外ファンド検索サイト「Pivot-RP for Kyoto University」を開設。定期的な利用説明会を実施。



海外ファンド獲得に向けた今後の課題

海外ファンドへの申請・チーム立上げに向けた事前準備

- ・ 国際共同研究のため研究滞在が必要な研究者に対し、支援体制の整備と資金提供 (e.g, 代替教職員の長期的な雇用など)
- ・ 日本に対する資金提供スキームが存在しない海外ファンドに参画する場合に独自の研究費を提供

人材交流の活性化

- ・ クロスアポイントメント制度を利用し、海外ファンドを獲得した外国人研究者の積極的な雇用
- ・ 当該教員の雇用費を提供や相手国の助成金申請も視野に、共同研究相手機関との柔軟なクロスアポイントメント制度を適用

契約・知財に特化した専門人材

- ・ 採択後、共同研究の契約の迅速な締結を可能とする法務や知財の交渉に特化した専門人材の雇用